**5月30日　ピクスタ株式会社　ピクスタ株式会社　代表取締役　古俣大介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**問1

やめるという選択肢はまるでない。腹をくくっていたからこそ起きた成功。

事業スタート→初期ユーザー獲得→最適化へのチューニング→資金調達→マーケティング→スケール化　へ。7割は決まっている。行動すること7割、知識3割。行動することのほうが大事だというのは予想外だった。ベンチャー企業でインターンシップをすることは興味があったので今日の講演を聞いて猶更してみたいと思った。日経新聞のスマホアプリは入れていて、時々見ているので、これからも継続してみていこうと思う。(経営学部　1年)

本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。私はイラストやデザインに興味があるので非常に楽しかったです。ご自身で会社をたちあげていらっしゃること自体、とても尊敬しているのですが、たちあげた初期の顧客の獲得も大変そうだと思いましたし、その後もお客さんのニーズに合ったものを提供するためのチューニング期がおよそ３年もあるときいてとても驚きました。もしかしたらこのままうまくいかなくなるかもしれないのに３年もの間サービスを改善し続けていらっしゃったときいて本当にすばらしい姿勢だと思いました。また、写真の素材などは会社単位でないと取引できないと思っていたのでピクスタさんのように個人でも素材を購入できるのはとても素敵だと思うし、いろんな人の可能性が拡がっていきそうだと思いました。（理工学部　化学・生命系学科　１年）

生産者とその生産物を享受するサービスの「ギャップ」を見つける、という話には感銘を受けた。また、今までになかった具体的な経営者の役割(初期ユーザーの獲得、最適化へのチューニング等)を教えてもらったことで、今までよく分からなかった経営者像の最も大枠の部分が理解できたと思った。また大学生になってなにをすればいいのか分からずに、ただ楽しく過ごしてきた僕にとって、情報を積極的にとる、興味のある分野を見つけるというお話は貴重だった。(経営学部　1年)

イスラエルに行ったことで、世の中は自分が今まで考えてきたことがスタンダードではないことを学び、触発されたとおっしゃっていましたが、これには非常に同感しました。私も今まではどちらかというと国内で満足できる人間でしたが、春休みに留学したことで、異なった環境下、異なったバックグラウンドの人々に触れて、知らなかったことを多く学び、今までいかに狭い範囲で満足していたのだろうかと思いました。そのため今回得られた新たな視野を大切にして、何か世の中に価値を生み出せる人間に成長していきたいと考えています。また学生生活にやっておくべきことに関して、自分の好きな分野を知るということを挙げていましたが、様々なことに挑戦して新しいことを知るたびに好きな分野が増えていく一方で、何が特に一番好きでどれを自分の生きる道として選択することが非常に難しくなっていると感じます。やりたいことが多くて人生一度きりだけでは足りないと最近よく思いますが、選択を迫られたとき後悔のない人生を選択できるようにしたいと思います。（理工学部　数物電子情報系学科　３年）

デジタル素材のプラットホーム事業は、最初に上がり出せば売り上げはどんどん上がっていくという現状を聞いて、ここまで安定して売り上げの上昇が見られる会社なんてなかなかないので驚いた。世の中には写真・イラストが好きな人がたくさんいるというポイントを掴んで事業を立ち上げることで成功するところはすごいなと思った。早く出して早く顧客の反応を得ることで、顧客側の欲している内容とのズレをすぐに見つけ出し、顧客のニーズに合わせることが大切だということを知った。学生時代にやっておくこととして、海外をまわること、ベンチャー企業でインターンをすることなど、行動を起こすことで得られるものがあるということを教わった。行動をすることで自分の力を理解することができるという点は確かに社会に出ていく前に知っておきたいことなので、行動を起こすことの大切を感じた。行動をすることで将来自分の進む道を決められるのが理由だと聞いて、私も今からでも行動を起こしてみようかと思った。(経営学部　経営学科　1年)

私も古俣さんと同じで、ある本を読んで考えが変わった一人です。古俣さんは孫さんですが私は椎木里佳さんという人です。経営学部を目指すきっかけとなりました。だからまず、その点がすごく共感できました。ただ私は起業がすごいことだとかそれくらいしか思わなくて、失敗するのを恐れて起業したいとは思いませんでした。だから4回もさまざまな事業を起業した古俣さんの意思とメンタルの強さをとても尊敬します。そのあとの我慢の期間も不安だろうし、本当に起業する方はすごいと思います。起業に興味がないわけではないですがまだやりたい分野が見つかっていないからかやろうとまでは思いません。しかし、ピクスタさんもそうですが、時代が変化し色々なものがコンピューター化、情報化してきたこのご時世、新しく求められる仕事はたくさんあるんだと最近感じます。自分のやりたいことを、登りたい山を大学生の早いうちに見つけたいです。（経営学部経営学科　１年）

起業してから軌道に乗るまでの数年を乗り切れるかどうか、というお話の中で、やはり起業にはものすごいエネルギーとガッツが必要なのだなと思いました。そして本気で起業を考えているならやはり学生時代から動き出したいなと思いました。“登りたい山を決めること。これで人生の半分が決まる。”その山を学生のうちに決めるのって、本当はすごく難しいと思うし、人生全部費やして考えていく人もいるだろうけど、常にそのことを意識はしながら毎日を過ごしていきたいと思いました。（経営学部　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

講義で世界・社会の情報を知るためにある程度決まったフォームでニュースなどを見るのが良いというのを見て、実践していこうと思いました（経営学部　２年）

自分の本当にやりたいことを探すのはそう簡単ではないと思うので、大学に在学中でも手あたり次第いろんなことに挑戦してみたい。多少の失敗は必要な条件だと思うので、めげずに取り組みたい。インプット3割でもチャレンジできるとのことなので、留学やインターンなど自分を成長させる機会には積極的に取り組んでみたい。アンテナを張ることの重要性を改めて認識させられたので、積極的に社会と関わる機会を増やしたい。(経済学部　1年)

自分が将来やりたいことは、考えているが、それをどのように道としてつなげていくか、考えたことはなかった。今日、古俣社長のお話をお聴きして、1つ1つの行動すべてをつなげている気がして、自分の未熟さに気がつかされた。自分のやりたいこと、自分の好きなこと、自分のことを知ることから始めて、そろそろ人生設計をしなくてはいけないなと思った。(教育人間科学部　人間文化課程　２年)

海外企業と、日本の企業の両方でインターンを行いたいと思っていて、様々な価値観から仕事に対しての見方を知っていこうと思っています。自身の確たる意見はぶれずに、経営者として実践していくことができるように大学生活を無駄にしないで過ごしていきたいと思っています。（経済学部　経済学科１年）

理想は自分の生きる道を学生時代に決めること、とおっしゃっていましたがまさにそれは私にとっても人生設計において理想であるなと思いました。とは言え、学生の身では経験も浅く、生きる道を決めるにはまだまだ情報が足りません。おススメされたようにまずはなんでも行動して視野を広げ、世の中を知りたいと思いました。ありがとうございました。（理工学部　化学・生命系学科　３年）

「日本という世界は狭く、多くのことを想像できないが、世界に目を向けると可能性が大きく広がる」とおっしゃっていたが私は日本よりももっと狭い関東という世界に留まってしまって入りと考えさせられた。そのため時間もお金もかかる世界に行くよりも先に、ある程度お手軽に行ける他の地方では関東と異なってどのようなことが不足しているかということを考えることも大切と考え、様々なこところで様々な視点で物事を考えていきたい。（経営学部　経営学科　１年）

**授業スタッフの感想**

画像を無料でダウンロードできるというのを売りにしているサイトは多くありますが、質の良い画像を企業などに向けて販売するというのはいままで聞いたことがなかったので驚きました。また、1番最初に行うものはニーズとずれているので、改良を重ねて行くのが普通だという話はためになりました。起業をするにあたってのポイントを分かりやすくまとめていたので、とても聞きやすく、理解もしやすかったです。

学生時代に自分の登りたい山を決めようと思ったという感想を持った人が多かったように感じます。そのためには行動７割・知識３割とおっしゃっていたように、様々な分野に興味をもって積極的に行動することが重要になってくると思います。私は留学やインターンシップに興味があるので、積極的に取り組んで、自分の登りたい山を決められるようにしたいです。

今回の古俣氏のお話を聞いて、学べたことは起業するには途中であきらめない忍耐力が必要だということです。また、世の中の些細なことでもいいので、何か改善できるところはないかを考えながら生きていくと良いということです。最近の私は自分のやりたいことよりも起業する方に重きを置いてしまっていて、本末転倒になっていると帰宅途中に気づきました。私が興味あるのは地域活性化で、その手段の一つとして起業という選択肢があったのに、起業ありきになっていて可笑しく思いました。本当に自分がやりたいものを忘れずに大学生活を過ごしていきたいです。PIXTAはよく知っている企業だったので、貴重なお話を聞けて本当に良かったです。次回の株式会社タスカジの和田氏の講義もとても楽しみです。